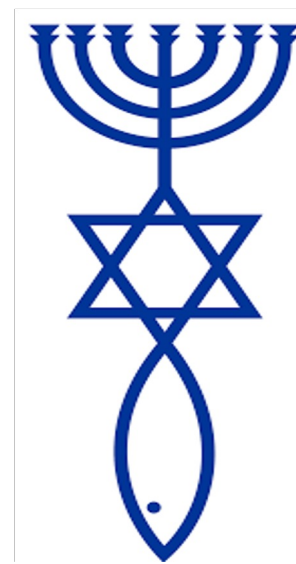


イスラエルのための祈り
帰還者の増加
2024/9/23恵比寿マンデー





ベングリオン空港に到着したアメリカからの帰還者

23年10月7日以降 戦争開始以降 増加する帰還者

* ハマスとの戦争中にもかかわらず、29,000人以上のオリム（新規移民）が、欧米諸国を中心にさまざまな国からイスラエルに到着
(移民統合省の最新データ)

* 「今まさにアリヤ(帰還)をしたいという願望が高まっており、今後 数年間で数万人のオリムが生まれる可能性がある」
(オフィール・ソファー移民統合相)

* 10月7日以降、移民統合省とユダヤ機関に帰還の問合せをした人数が30,000人を超えたことが明らかにされた。(ユダヤ機関のグローバル・アリヤ・センターによる特別報告書)

* 帰還に関する問い合わせ件数の増加

フランスは昨年同期比355%増で、5,500件以上の問い合わせ
アメリカでは62%増の6,000件以上の問い合わせ
カナダでは800件以上の問い合わせ、87%の急増を記録
イギリスは63%の増加

* 受け入れ優遇措置 過去1年間でイスラエル政府が発表

住宅購入のための購入税軽減、ネゲブとガリラヤでの家賃補助、学問分野の専用プログラム、帰還する医師への助成金、移民支援制度など

歓迎する指導者たち

* 「多くのユダヤ人が、イスラエル国家を強化し、連帯を表明し、シオニストのストーリーに参加するため、試練の戦争中に帰還を決意した」 (ソファー移民統合省 大臣)

* 「イスラエルへの移民に関するデータは、イスラエル国家に対する彼らの大きなコミットメントと愛を反映していて、私たちの心を満たし、この困難な時代に力づけてくれるものだ。イスラエルとともにあるオリム(新規帰還者)の存在は、希望を象徴している」(ユダヤ機関 アルモグ会長)

* 「10月7日の大虐殺の後でも、そして安全保障のための戦争が続く中でも、私たちは約25,000人の新しい移民の流入を目の当たりにしている。これは、イスラエルの地に対する決意、信仰、そして深い愛を示す強いメッセージだ。この波は、多くの移民申請の開始とともに、ユダヤ人が父祖たちの地で、自分たちの未来を築き続ける決意を世界に示している。私たちは、最も困難な時であっても、共に融合し、築き、強化し続けるだろう。」(世界シオニスト機構のヤアコブ・ハゴエル会長)

祈りの課題

* 戦時中にもかかわらず 帰還した人々が イスラエルでの生活に スムーズに 適応できますように。父祖たちの地に帰ることで ユダヤ民族の一致と団結が強められますように。霊的覚醒へと導かれますように。

* 新しく帰還した人々を受け入れる働きをする団体や人々が 困難な状況にあっても守られますように。

* ハマスによって人質とされた全員が即時に解放されますように。人質救出の任務に着くIDFの兵士たち、最前線で戦うIDFの兵士たちが 守られますように。